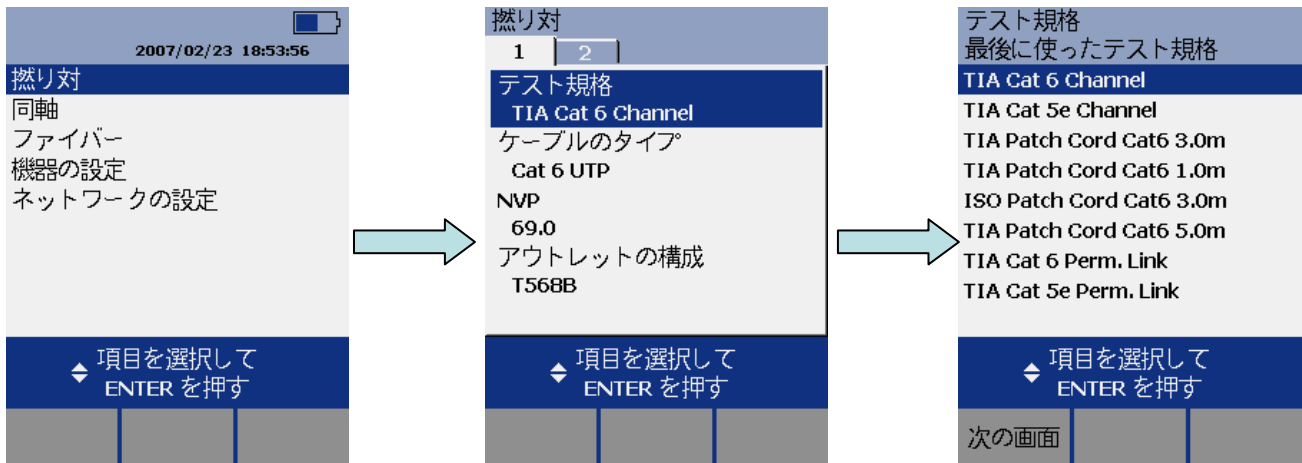


## DTX でのクロスケーブルの測定

TIA や ISO などによる配線規格では、チャンネル及びパーマネントリンクをストレート結線で敷設することを前提としています。従って、テスト規格として TIA や ISO を選択した場合は、ワイヤーマップで不合格となります。DSP では TIA 規格や ISO 規格をベースに、自由に結線をカスタマイズすることができましたが、DTX では上記の理由で結線状態を自由にカスタマイズすることはできません。

TIA や ISO 規格を選択してクロスケーブルを測定した場合、ワイヤーマップ不良となりますが強制的に測定を続行させることができます。しかし、この場合、結線を間違えたペアに関しては本体側から見たときに、オープンとみなされるので挿入損失や、それに関連する ACR などの測定が正常に行えません。

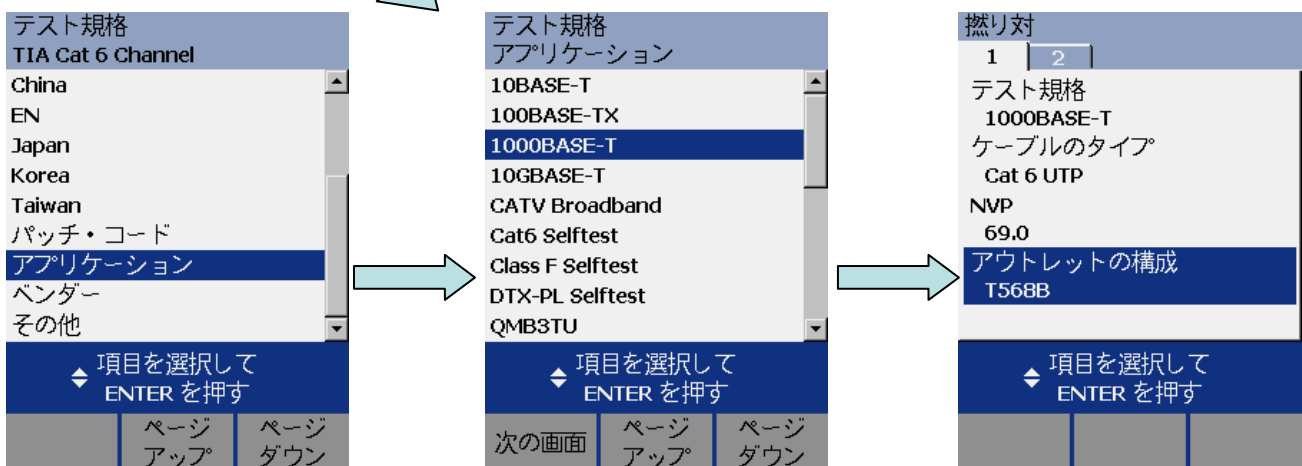
一方、IEEE による 100BASE-TX や 1000BASE-T はあくまでも伝送方法の規格なので、クロス接続も可能としています。従って、DTX でクロスケーブルを測定したい場合には IEEE によるアプリケーション規格を選択することになります。以下に手順を示します。



- ① ロータリースイッチを SETUP に合わせる。
- ② 振り対を選択し ENTER を押す

- ③ テスト規格を選択し ENTER を押す

- ④ 次の画面 (F1 キー) を押す



- ⑤ アプリケーションを選択。ENTER を押す。

- ⑥ 1000BASE-T (または、100BASE-TX) を選択

- ⑦ アウトレットの構成を選択し ENTER を押す

アウトレットの構成  
T568B  
ATM/TP-PMD Straight  
ATM/TP-PMD Crossed  
Token Ring  
Ethernet Two-Pair  
Ethernet Two-Pair Crossed  
Crossover  
**1000BASE-T Crossover**  
Rollover  
カスタム

項目を選択して ENTER を押す

サンプル アップ ページ ダウン

ワイヤーマップ  
1000BASE-T Crossover

1 1  
2 2  
3 3  
6 6  
4 4  
5 5  
7 7  
8 8  
s 8

サンプル(F1)を押すとワイヤーマップが確認できます。

捩り対  
1 2  
テスト規格  
1000BASE-T  
ケーブルのタイプ  
Cat 6 UTP  
NVP  
69.0  
アウトレットの構成  
1000BASE-T Crossover

項目を選択して ENTER を押す

⑧ 1000BASE-T Crossover を選択し ENTER を押す  
※アウトレットの構成では、その時選択したテスト規格によって、  
選択出来るアウトレット構成が異なります。

⑨ 以上で設定は完了です。ロータリースイッチを AUTOTEST に回して試験を実行します。

注意：アウトレットの構成でのカスタムに関して  
\* DTX の場合、カスタム設定では自由な結線の設定を行うことができません。  
\* 設定できるのは、測定するペアを有効もしくは無効にする選択のみになります。  
以下は、CROSSOVER の 4,5/7,8 ペアの測定を無効にするカスタム設定の例

アウトレットの構成  
1000BASE-T Crossover  
ATM/TP-PMD Straight  
ATM/TP-PMD Crossed  
Token Ring  
Ethernet Two-Pair  
Ethernet Two-Pair Crossed  
Crossover  
1000BASE-T Crossover  
Rollover  
カスタム

項目を選択して ENTER を押す

サンプル ページ アップ ページ ダウン

アウトレットの構成  
1000BASE-T Crossover

項目を選択して ENTER を押す

作成

カスタム  
1 2  
名前  
Custom Outlet Name  
デフォルト値を使用  
Crossover  
1,2-3,6  
有効  
3,6-1,2  
有効  
終了したら SAVE を押す

項目を選択して ENTER を押す

DTX ではカスタムの設定は、必ずデフォルト値を使用する(“アウトレットの構成”のリストの中から選択し、それに対して測定の有効・無効ペアを選択するだけ)事になります。

カスタム  
1 2  
4,5-4,5  
無効  
7,8-7,8  
無効  
終了したら SAVE を押す

項目を選択して ENTER を押す

この設定を TIA や ISO 規格に適用すると、右のようなメッセージが表示され、カスタム設定を利用することができません。(IEEE 規格のみで利用できます。)

テスト規格、ケーブルやファイバーのタイプ、ワイヤーマップの互換性はありません。

OK